

わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

75

ライフドアすわには、四つの大きな役割【①在宅医療・介護連携推進事業、②生活支援体制整備事業、③認知症総合支援事業、④地域ケア会議推進事業】があります。

その役割の一つ「医療介護連携推進事業」の中に、地域の医療・介護関係者間の連携等に活用するための「地域の医療・介護の資源の把握」という項目が掲げられています。

ライフドアすわでは、毎年、○諏訪市地域医療要覧、○医療機関ガイドマップ、○もしもしドクターすわ、○もしもし歯医者さん・すわ、を作成し介護事業等に配布しています。（医療機関ガイドマップは医療機関や保健センター等で市民の皆様にも持ち帰ることができます）

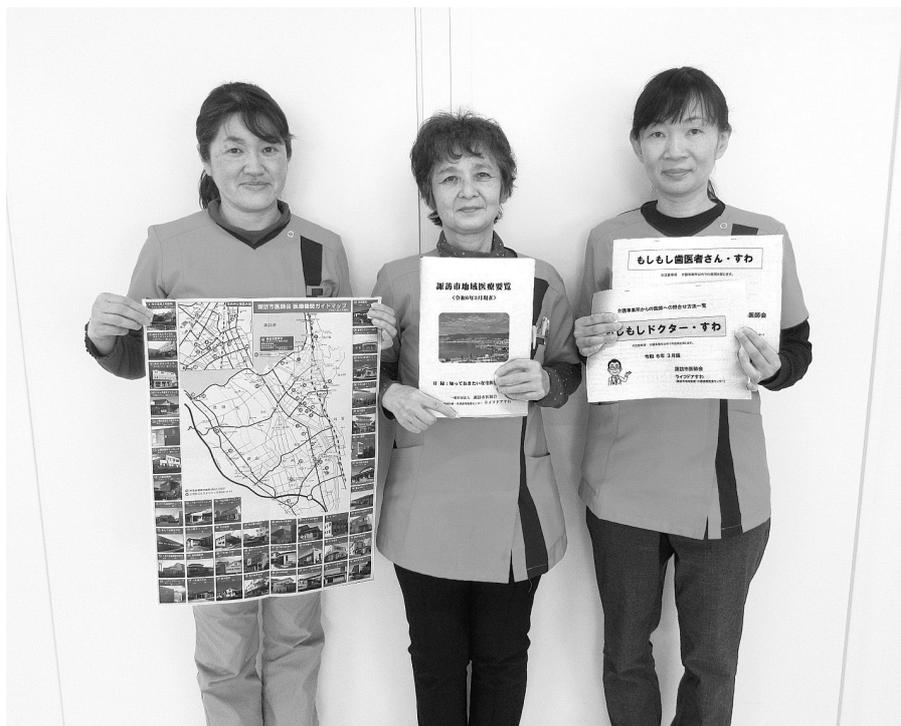


○諏訪市地域医療要覧には、市内の医療機関、歯科医院、保険薬局、介護保険事業所等を掲載しています。市内で介護保険事業所を経営する法人や事業所の種別やその数をご存じでしょうか。介護保険事業所等一覧表には、市を含む法人が、支援センター、施設サービス、居宅サービス（16種類のサービス等）、住

か さい ひで き
河西 秀樹

ライフドアすわ事務部長

「医療機関ガイドマップ」「地域医療要覧」「もしもしドクター・すわ」「もしもし歯医者さん・すわ」を持つライフドアすわスタッフ



宅型有料老人ホームなどの種別に分けて112の事業所が掲載されています。またサービス等の簡単な説明も付けてあります。

○医療機関ガイドマップは、市内の医療機関とその場所が一目でわかるマップです。裏面には、医療機関の診療科目等のほか、歯科医院、薬局の一覧を掲載しています。

○もしもしドクターすわは、ライフドアすわが主催する多職種協働セミナーの中で、介護事業所関係者が

らの要望を受け、医師会と協力し、介護事業所から医師に問合せする場合の方法や時間帯を一覧にしています。

○もしもし歯医者さん・すわは、諏訪市歯科医師会の協力を得て作成した、もしもしドクターすわの歯医者さん版です。

ライフドアすわには、冒頭に書いた四つの役割に共通する目的として、医療と介護関係者との「顔の見える関係づくり」という項目もあります。地域医療要覧の内容を更新する際には、新規開業事業所はもちろんのこと、既存の事業所にも訪問し各施設の職員と面談しながら確認作業をしています。

こうしたことも、地道な顔の見える関係づくりの一つだと考えています。小さな積み重ねからよりよい関係を築くとともに、ライフドアすわで開催する研修会などに参加していただき、医療・介護関係者間の連携がさらに深まるよう努めています。このほか、ライフドアすわのホームページやライフドア通信の発行などを通じて随時情報提供できるよう心がけています。

最後に、みなさんライフドアすわのチームカラーが何色かご存知ですか。看板、ホームページ、そして、女性職員のユニフォームもグリーンです。ぜひ覚えておいてください。

次回は5月12日掲載予定

医療介護連携の情報提供と顔の見える関係づくり